

◆◆◆ 安全上のご注意 ◆◆◆

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。  
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や  
財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。  
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| 表示                                                                                       | 表示の意味                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| <br>危険 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。      |
| <br>警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。                |
| <br>注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

| 図記号                                                                                | 表示の意味                               |
|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
|  | △記号は、注意(危険・警告含む)を促す内容があることを告げるものです。 |
|  | ○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。            |
|  | 左の記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。      |

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

[UHF 無線電話中継器]

# DJ-U2R

## 取扱説明書

アルインコの中継通信システムをお買い上げいただきましてありがとうございます。  
本製品は、総務省技術基準適合品 (XE-MC25) を内蔵した UHF 無線電話中継器です。  
本製品の機能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。

※本製品は、DJ-U1 (子機: 弊社製品) と併せてご使用いただくことで、通信できるシステムです。



### 警告

#### ■使用環境・条件

-  内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
-  この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。
-  この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。
-  電子機器 (特に医療機器) の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
-  航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください (電源も入れないで下さい)。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。
-  この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないで下さい。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。
-  指定以外のオプションや他社のアクセサリ製品を接続しないでください。故障の原因となります。
-  この製品を使用できるのは日本国内のみです。国外では使用できません。  
This product is permitted for use in Japan only.

#### ■本体の取扱いについて

-  この製品は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
-  布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

#### ■AC アダプターの取扱いについて

-  指定以外の電圧で使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
-  AC アダプターの AC プラグをタコ足配線しないでください。加熱、発火の原因となります。
-  めれた手で AC アダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。
-  AC アダプターを AC コンセントに確実に差し込んでください。AC アダプターの刃に金属などが触れると、火災、感電、故障の原因となります。
-  AC アダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災、感電、故障の原因となります。

## ■異常時の処置について

- ⊘ 以下の場合、すぐにACアダプターのプラグを本体からはずし、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご連絡ください。

お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

- ◆ 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- ◆ 落したり、ケースが破損したりしたとき
- ◆ 内部に水や異物が入ったとき
- ◆ ACアダプターのコードが傷んだとき  
(芯線の露出や断線など)

- ⚠ 雷が鳴り出したら、安全のためACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

## ■保守・点検

- ⊘ 本体やACアダプターのケースは開けないでください。けが、感電、故障の原因となります。内部の点検・修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご依頼ください。  
無線ユニット(XE-MC25)のカバーを開けて改造、変更することは法律で禁止されています。

## ■保守・点検

- ⚠ お手入れの際は、安全のため必ずACアダプターをACコンセントから抜いてください。
- ⚠ 汚れた場合は、柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。  
ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質するおそれがあります。

## ■市販の単三形充電池について

- ⊘ 市販の単三形充電池は、機能的・電氣的にお使いになれないものがあります。誤って使用すると、電池が液漏れしたり、発熱・破裂などを起こす危険がありますので、市販の充電池をご使用になつての不具合、損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ⚠ 注意

## ■使用環境・条件

- ⊘ テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
- ⊘ 湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ⊘ ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ⊘ 直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がリ、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
- ⊘ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所には置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

## ■本体の取扱いについて

- ⚠ 長時間ご使用にならないときは、安全のためACアダプターをACコンセントから抜いてください。
- ⚠ アンテナを誤って目にささないようにしてください。
- ⚠ アンテナを持って本体を振り回したり、投げたりしないでください。  
けがや故障、破損の原因となります。

## ◆◆◆ 使用前のご注意 ◆◆◆

- 使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。  
次のような場所では使用しないでください。  
(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内など)
- 本機は防水構造ではありませんので屋内に設置してください。  
また設置場所は、高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多いところは避けてください。
- 本機に内蔵しています無線ユニット(XE-MC25)を分解、改造して使用することは、法律でかたく禁じられています。
- 海外では法律や周波数の割り当てが異なるため使用できません。  
This product is permitted for use in Japan only.
- 内部設定後は、リアケースとケース本体を止める6箇所のビスを完全に締め付けてください。水分や異物の混入は、保証修理の対象外となります。

## ◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

|              |    |
|--------------|----|
| 安全上のご注意      | 2  |
| 使用前のご注意      | 8  |
| 目 次          | 9  |
| 1 付属品        | 10 |
| 2 機能と特長      | 10 |
| 3 各部の名称とはたらき | 11 |
| 4 システム構成について | 13 |
| 5 スイッチの設定方法  | 14 |
| 6 設置         | 16 |
| 7 付録         | 17 |

## 1 付属品

開梱しましたら、付属品を確認してください。

- AC アダプター
- 電源延長ケーブル (5m)
- ゴム足 4 個
- 木ねじ 2 本
- 取扱説明書 (本書)
- 保証書

注意：保証書に購入の日付が記載されていないときは、レシートを保証書と一緒に添付してください。ご購入日が証明できる資料が無いと保証サービスは無料となりますのでご注意ください。

## 2 機能と特長

- 総務省技術基準適合品 (XE-MC25) を内蔵しています。
  - 免許および申請手続きは一切不要です。
  - DJ-II (子機：弊社製品) と併せてご使用いただくことで、中継通信が可能になります。
  - 音声通話の明瞭度を上げるコンパnder機能搭載。
  - 本機の電源は、家庭用 AC コンセント (AC アダプター：付属品) から供給することができます。
  - 長さ 5m の電源延長ケーブル付属。
  - 内蔵電池により停電時でもバックアップ運用可能。
- ※詳しくは、販売店または代理店にご相談ください。

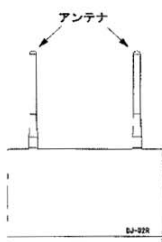
9

10

## 3 各部の名称とはたらき

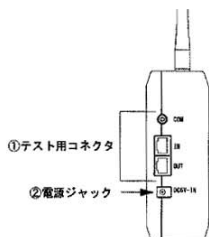
本機の各部の名称とはたらきを説明します。

### ■ 前面部

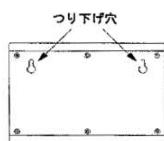


注意：アンテナは外れないようになっています。アンテナを回したり、引っこ抜いたりしないでください。

### ■ 側面部



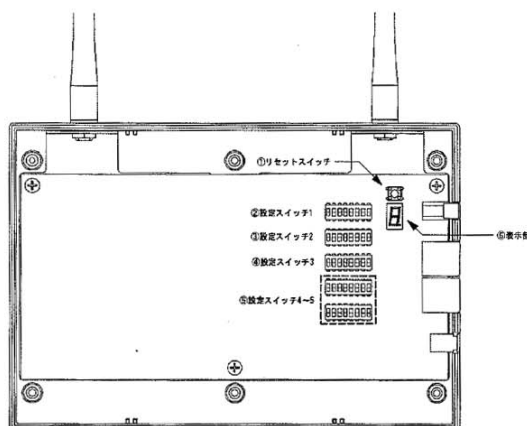
### ■ 背面部



| 名称         | はたらき                           |
|------------|--------------------------------|
| ① テスト用コネクタ | 動作確認用のコネクタです。                  |
| ② 電源ジャック   | 付属の AC アダプター (EDC-122) を接続します。 |

11

### ■ ケース内部 (操作部)



| 名称                         | はたらき                      |
|----------------------------|---------------------------|
| ① リセットスイッチ                 | 設定変更時に押します。押すと設定が有効になります。 |
| ② 設定スイッチ 1 (SW101)         | 運用形態 (親局または子局) を設定します。    |
| ③ 設定スイッチ 2 (SW102)         | チャンネルグループを設定します。          |
| ④ 設定スイッチ 3 (SW103)         | 子局番号を設定します。               |
| ⑤ 設定スイッチ 4~5 (SW104~SW105) | 本機では使用しません。               |
| ⑥ 表示部                      | 本機の運用状態を表示します。            |

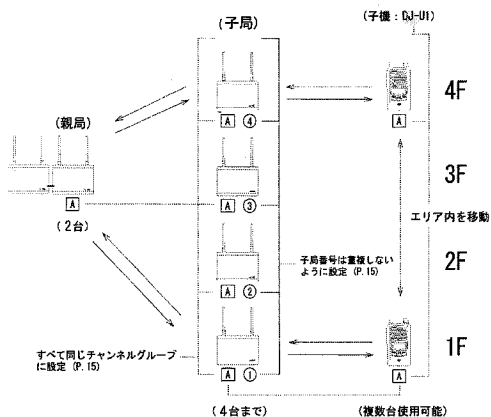
12

#### 4 システム構成について

建物内など子機同士では直接通信できない場所にいる相手と中継器(親局・子局)を介して通信できます。子機として弊社製 DJ-UI が別途必要です。

＜参 考＞ 下図は 4 階までの各階に子局を設置する場合の構成例です。

【設定項目】 **A** : チャンネルグループ 子局①～④ : 子局番号



※ 小規模な通話エリアの場合、親局 1、子局 2 の設定でもお使い頂けます。

**注意** ・親局・子局間は電波が届くことを確認の上、設置してください。  
・親局、子局及び子機はすべて同じチャンネルグループに設定します。  
・子局番号は重複しないように設定します。  
・親局・子局間に壁がある場合など電波が届かないときは、販売店及び代理店にご相談ください。

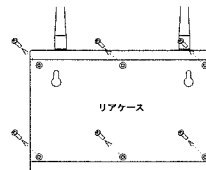
13

#### 5 スイッチの設定方法

本体背面のビス 6 本をドライバーで外し、内部のスイッチにより各種の設定をおこないます。

すべての設定が完了したら、リセットスイッチを押すか、電源を入れ直してください。  
→表示部に親局の場合「P」、子局の場合「C」と表示されます。

**メモ** 本機には電源スイッチがありません。前面の電源ジャックに付属の AC アダプターのプラグを接続するだけで自動的に電源が入ります。



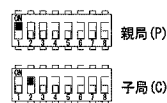
**注意** スイッチの設定後は必ずリアケースとケース本体を止めるネジのビスを完全に締め付けてください。

##### ■設定スイッチ 1 (SW101) の設定方法

設定スイッチ 1 は、中継器の運用形態(親局または子局)を設定します。  
親局と子局の関係は、システム構成 (P.13) をご覧ください。

□親局の場合、1 番スイッチを ON (上) 側にします。

□子局の場合、2 番スイッチを ON 側にします。



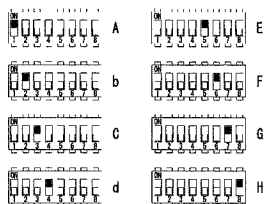
14

##### ■設定スイッチ 2 (SW102) の設定方法

設定スイッチ 2 は、チャンネルグループを設定します。

**注意** 適用する場合(注)、中継器(親局と子局)及び子機(のどい)をすべて同じチャンネルグループに設定してください。

8 種類のチャンネルグループ (A～H) から 1 つだけを選んで ON 側にします。

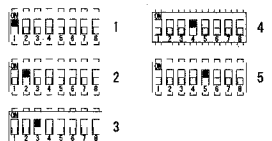


##### ■設定スイッチ 3 (SW103) の設定方法

設定スイッチ 3 は、子局番号を設定します。

**注意** ・子局番号 (1～5) は重複しないように設定してください。  
・設定スイッチ 4 のネジを締め、本機では使用しません。

5 個の子局番号 (1～5) から 1 つだけを選んで ON 側にします。



**メモ** ・ほかの電波の干渉などで、正常に動作しない場合があります。この場合は、チャンネルグループを変更してください。5 種類のチャンネルグループ (A～H) いずれも動作しないときは、販売店または代理店にご相談ください。

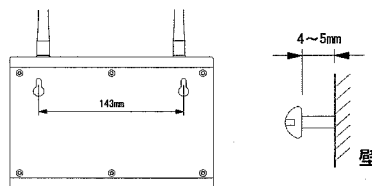
15

#### 6 設置

中継器(親局・子局)は、なるべく見通しのよいところに設置してください。

□壁面に取り付ける場合

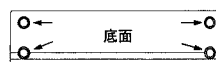
本機の背面には、つり下げ用の穴があいています。  
付属の木ねじを 143mm の間隔で壁に取り付けてください。その際、壁とねじのあいだに隙間を 4～5mm 程度保ち、本機をつり下げてください。  
※落下の危険がないことを必ず確認してください。



**メモ** 付属のビスは、ベネやなど木の器具です。その他の壁については別途専用のビスをご用意ください。

□卓上に置く場合

本機の底面に付属のゴム足 4 個を貼り付けてください。  
※倒れないことを必ず確認してください。



16

7 付 録

■故障とお考えになる前に

本機が故障かな？と思ったら、まずこちらをお読みください。

| 症状                    | 原因                | 処置                                                       |
|-----------------------|-------------------|----------------------------------------------------------|
| 電源が入らない<br>(なにも表示しない) | 電源が接続されていない       | AC アダプターを家庭用コンセントに差し込み、本体の電源ジャックに AC アダプターのプラグを挿入してください。 |
| 通話できない                | チャンネルグループが違う      | 親局、子局及び子機をすべて同じチャンネルグループに合わせてください。(P.15)                 |
|                       | 親局－子局間の距離が離れすぎている | 電波が弱くことを確認の上、設置してください。                                   |
|                       | 子局－子機間の距離が離れすぎている | 場所を移動してから通話してください。                                       |
|                       | 子局番号が重複している       | 異なった子局番号を設定してください。(P.15)                                 |
|                       | ほかの電波が混信している      | チャンネルグループを変更してください。(親局、子局、子機すべて)                         |

※子機についての操作方法は、DJ-U1 の取扱説明書をご覧ください。

→ アフターサービスや各製品についての最新情報などは、アルインコホームページをご覧ください。

■定格 DJ-U2R

|           |                                                                                          |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 送受信周波数    | 421.5750～421.7875MHz, 421.8125～421.9125MHz<br>440.0250～440.2375MHz, 440.2625～440.3625MHz |
| 電 波 形 式   | F3E (FM)                                                                                 |
| 通 信 方 式   | 半複信方式                                                                                    |
| 送 信 出 力   | 10mW                                                                                     |
| 受 信 方 式   | ダブルスーパーヘテロダイン                                                                            |
| 受 信 感 度   | -14dB $\mu$ 以下                                                                           |
| 中 間 周 波 数 | 1st IF 21.7MHz/ 2nd IF 450kHz                                                            |
| 消 費 電 流   | 約 250mA                                                                                  |
| 入 力 電 圧   | DC6V (AC アダプター使用)                                                                        |
| 動作温度範囲    | -10℃～+50℃                                                                                |
| 寸 法       | 200 (W) × 135 (H) × 50 (D) (突起物除く)<br>アンテナ長 136mm                                        |
| 重 量       | 約 900g                                                                                   |

仕様・定格は予告無く変更する場合があります。